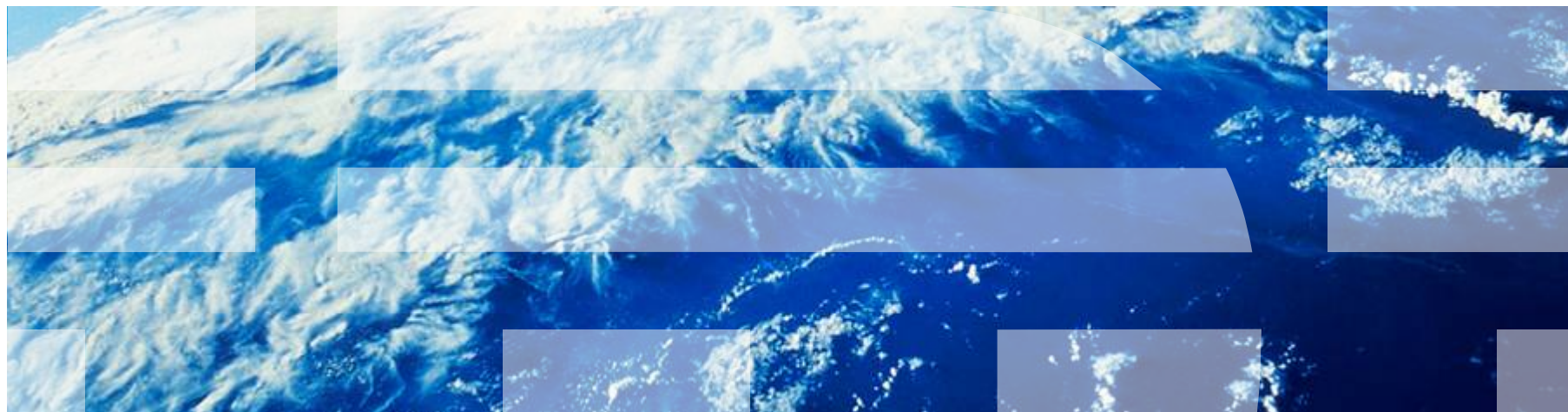


2011年12月22日（木）

日本アイ・ビー・エム株式会社  
（水産業クラウド検討WG幹事）



# 第3回「ジャパン・クラウド・コンソーシアム」総会 “水産業クラウド検討WG”活動ご報告



## 1-1. 活動概要： 2011年8月「JCC水産業クラウド部会設立」

### 目標

- ・ICT、クラウドを活用した新しい水産業ビジネス・モデル（スマーターフィッシュ）を構築し、日本の水産業の高収益化、ブランド競争力の向上に資する。
- ・消費者にとって安心・安全な「水産物」の流通、提供の仕組みを検討し、具現化する。

### 課題認識

水産業は、日本の沿岸部地域における重要産業であり、長い歴史の中で日本固有の食文化を支えてきた産業である。近年の食文化の多様化や震災の影響が残る状況において、水産業の復興及び強化の実現が求められている。

### 具体的検討項目

#### STEP1:情報収集

- ・漁業関係者、水産加工会社、物流会社、海外協力団体等から、現状の業務状況と課題をヒアリングしまとめる。あわせて、消費者からの魚文化への意見・要望の情報収集を行う。

#### STEP2:課題検討

- ・ヒアリング結果をもとに、クラウドサービスを利用する領域と方針を検討する。
- ・サービス普及推進の方法について検討する。

#### STEP3:具体化

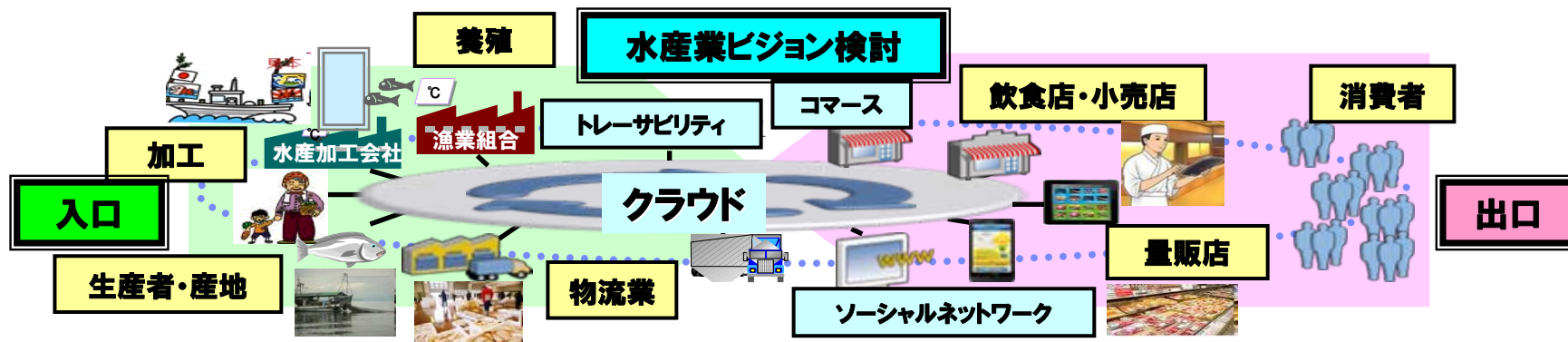
- ・ICT、クラウドを活用したスマーターフィッシュ実現のための実証事業の検討
- ・次世代水産業ビジョンの策定

### 導入効果(目標)

- ・日本の水産業における高収益化、ブランド競争力の向上を通じて、経済の活性化を図る。

## 1-2. 活動概要： 活動内容のふりかえり

- WG構成：メンバー：27団体47名、オブザーバー：6団体7名。
- 活動のふりかえり：
  - キックオフ： 2011年9月12日開催。 38名参加。
  - Sub-WG活動：3つのSub-WGで個別に活動。  
合宿型集中討議・会議・電話会議などSub-WG毎に2回打ち合わせを実施。
  - 中間報告会： 2011年12月6日開催。 38名参加。



### ■SWG1 次世代型「日本の水産業ビジョン検討」サブWG

- クラウド等ICTを活用した日本型次世代水産業のTo Beモデルを描き提言

主査： 加茂(IBM)

副主査： 三重大学 亀岡教授

### ■SWG2 入口(生産者)「魚価を上げる為の水産業の流通/サプライチェーン改革提案」流通サブWG

- 漁業資源管理、実態把握のしくみや流通把握システム化についての研究
  - 海外水産業事例研究、定置網業での低利用魚の価値化検討
  - 現場でのトレーサビリティ機能のありかた

主査： 末次(IBM)

副主査：  
東京海洋大学 東海教授

### ■SWG3 出口(コマース)「新しい水産業のマーケティング検討」サブWG

- 大手流通に頼らない新たな出口の新しいコマースモデルの検討・研究
  - ソーシャルNWを使ってどう消費者に情報発信をしていくか
  - 付加価値を高めるためのトレーサビリティとビジビリティ、見える化、情報発信の仕方

主査： 久保田(IBM)

副主査：  
辻調理師専門学校・辻製菓  
専門学校 尾藤様

# 1-3. 活動概要： 活動のご紹介



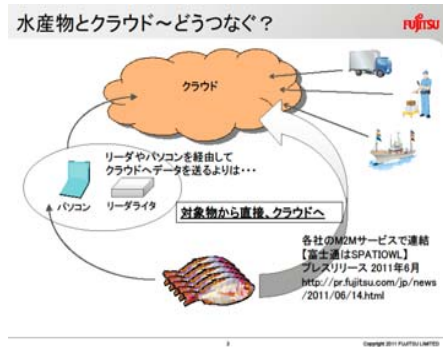
**バイヤー (買い手)**

- ・大手量販店
- ・外食チェーン
- ・流通業者
- ・消費地仲買
- など



**セラー (売り手)**

- ・漁業者
- ・漁協
- ・漁港
- など



水産物外・出口WG資料—1— ICタグ 115 X 70 mmサイズ

魚類イメージ図

魚類から見た図

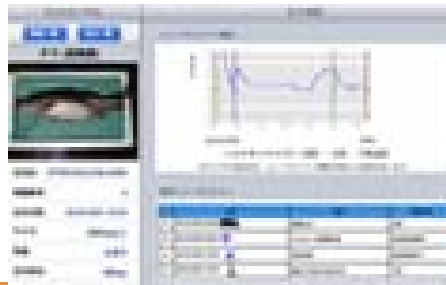
横から見た図

縦から見た図

水産物外・出口WG資料—1— 町の魚屋さんが少なくなった。

魚のコンビニ販売工夫(流通→XXXX)。  
~本業さんは、減少し雑魚はコンビニ販売が主流となった

大日本印刷株式会社



水産加工業向け販売管理システム

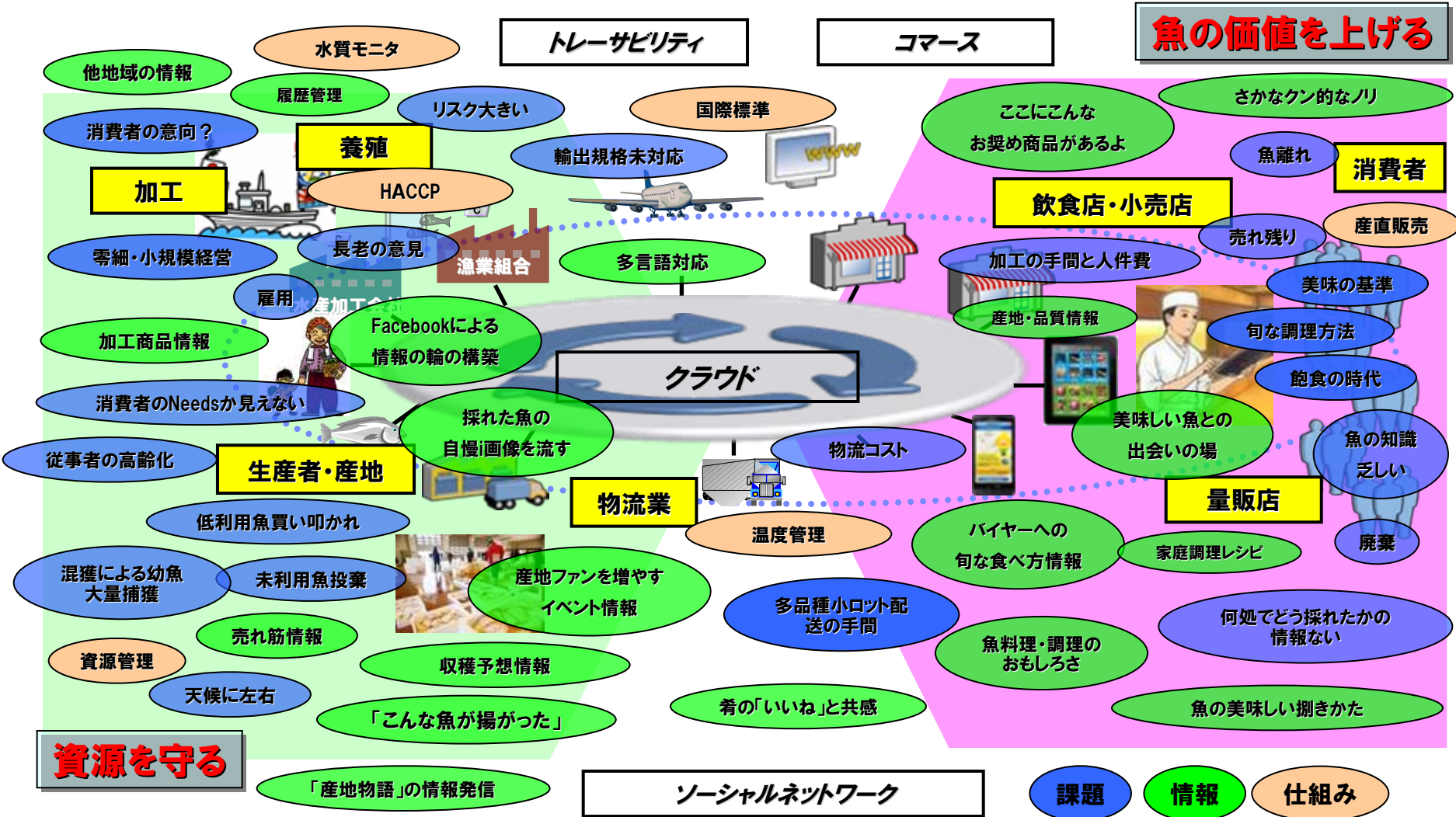
株式会社 **システム**

〒020-0814  
盛岡市南大橋1-12-02  
電話 019-651-2815 FAX 019-651-2816 www.shikisystem.co.jp



## 2. STEP1 情報収集 --- 各Sub-WGによる活動 9-10月

### 「入り口」「出口」「全体」での「現場の課題」と「必要な情報・仕組み」の議論



### 3. STEP2 課題の整理と解決策の検討 --- 各Sub-WG 11月

#### 見出された課題に基づいた検討

- SWG1
  - － 入り口～出口における「クラウド、ITの利用により課題解決可能な領域の定義」の検討
  - － 「定義された領域での導入効果/価値の考察」の検討
- SWG2
  - － 漁業事業の絞込み(規模、漁法、魚種(大量単一種、少量多品種))および対象セグメントにおける課題議論と解決ソリューションの検討
  - － 海外事例や先進事例を通じて学ぶべきところをメンバーで議論し、メンバーの経験・知見から現状課題を共有・議論し課題解決策を検討、課題解決につながるソリューションの検討
- SWG3
  - － 水産業流通・販売領域における現状の課題の整理
  - － 消費者・需要家にとって必要な情報の洗い出し
  - － 情報発信の方法・手段の検討
  - － 風評被害への対応についての考察

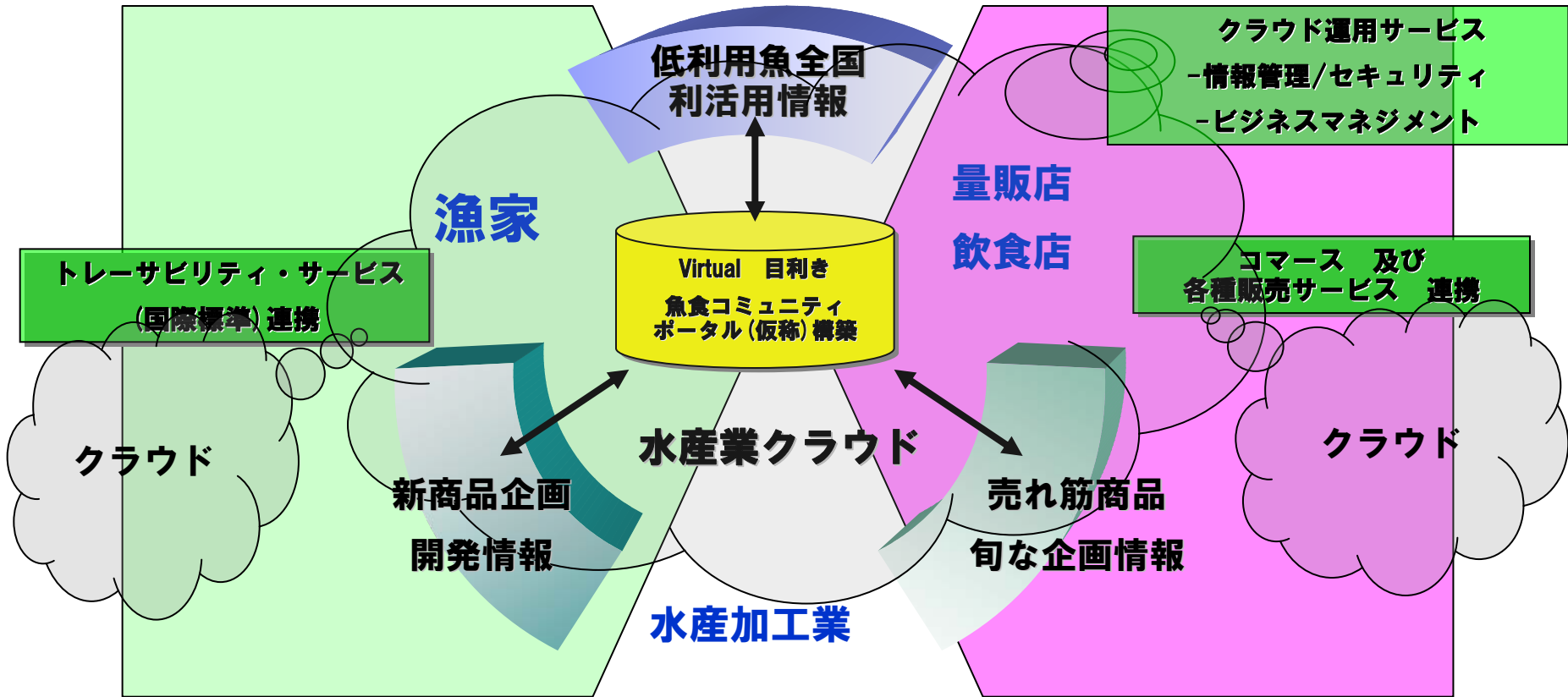
# 4-1. STEP3 具体化の検討と議論 --- 12月

## 具体化への取り組み

\* 中間報告会議論資料

**取り組み命題：**

定置網漁における一般的な低利用魚をクラウドを活用して「利用魚」に変える。  
 利用魚に変える事で「資源を有効活用し価値を生む仕組み」を作る。



## 4-2. STEP3 具体化の検討 --- 将来に向けて

### クラウドによる次世代水産業ビジョン社会実験の検討

